

伊藤さん
名古屋市のほうは、蟹江と合併して、何かメリットがあるのですか。

中村リーダー
合併と言っていますが、これは編入なんです。吸収合併してほしいということなんです。そして全体として、この地域の財政効率を高めてほしい、ということであって、これは、蟹江町全体がまとまって、名古屋市にお願いする、ということです。

伊藤さん
分かりました。では名古屋市に編入されることによるメリットは何でしょうか。

中村リーダー
敬老パスや障害児・者の福祉パスのよ
うに、高齢者の福祉や健康に力を入れて
いますし、障害者に対する助成などはか
なり手厚いですね。

高齢者のがん検診はワンコイン、五〇〇円で受けることができます。
このように質の高いサービスは政令指定都市ならではのともいえますよね。

伊藤さん
政令指定都市って、どんなものか、良く知らない人が多いと思いますが、違いを教えてくださいければ・・・

中村リーダー
県とおなじような権限がありますから、簡単に言えば、大きな事業でも、市が独自に政策を決めて、独自に実行できる、ということでしょうか。
とにかく、早いですね。なにことも。公共下水道の整備など、蟹江は1000年遅れていますよ。名古屋市より。
災害対策で見れば、防災対策や災害後の復旧について、蟹江町とは比較にならない財力と規模で対応できる能力があります。さらに過去に水害があったところや、低い地域の水害対策も順次進めていきますよ。

最近、特に名古屋市内では、近鉄、JR共に線路の高架や駅舎の整備が進めら

れています。港区茶屋には、最新式の火葬場も建設され、施設の差は本当に大きなものがあります。

伊藤さん
我が家の地域にはまだ、下水も整備できていません。
友人の家の近くは、夏は悪臭で悩まされている、と言っていますし、早く整備して欲しいですね。
ところで、横江町長は、名古屋市と合併する気はないようですが。

中村リーダー
私たち行政を担当する者は常に、住民にとつて今一番いい、と言える行政サービスを提供していく義務と責任があると思います。

名古屋市と合併することで、行政レベルもアップし、総合的に見れば、蟹江町単独よりも良いサービスが提供できることを知りながら、それに向けて努力しないとすると、それは首長として、どうかと思いますね。
知っているかどうかは本人にお聞きするしかありませんが、議会の答弁では、名古屋市を格の違う大都市として賛美している、全く合併対象とは考えていないようにみえます。

伊藤さん
税金が高くなる、という人もいますが、実際のところ、どうなのでしょうか。

中村リーダー
大都市も小さな町も、国が一律に税率を決めていますから、基本的には同じですが、税金の種類によって、ちよつとだけ、減ったり、増えたりするものがあります。

先ほどから言っていますように、合併によって生じるデメリットより、合併によって蟹江町民が受け取る恩恵の方がはるかに大きいことを良く知って欲しいです。

伊藤さん
私たち町民もこの問題について、もっ

と自分の問題として考える必要がありますね。

中村リーダー
正しく知ってもらうために、私たちも努力をしていきます。

伊藤さん
これからは、どのように活動されますか。

中村リーダー
引き続き、町民の皆様にも、必要な情報を提供していきたいと思っています。

そして、なにより、蟹江町の将来を考えたとき、名古屋市との合併を強く推進していくための柱が必要だと思っています。その力強い柱を作っていくために、もう一度努力をしていきます。

町の人口が少ないことが、人材の面でもマイナスだと、実感していますが、良い人材を得ることが、実現への近道となりますし、実現を可能にすることですから、そこに向かって誠意を尽くしていくつもりです。

伊藤さん
いろいろと、良くわかりました。きょうはどうもありがとうございました。これからの活動に期待しています。

中村リーダー
こちらこそ、ありがとうございました。

名古屋市との合併を目指す

「チーム to 名古屋」

〒497-0043 蟹江町新千秋後西41-4 ☎0567-96-1056